

令和6年9月9日（月） 川越比企地域医療構想調整会議

川越市における地域包括ケアシステムの推進に向けた取組

川越市の概要 令和6年4月1日現在

- 人口 : **352,836**人 (168,317世帯)
- 高齢化率 : **27.09%**
- 高齢者人口 : 65歳以上 **95,590**人
 - 《内訳》 65歳～74歳人口 40,493人
 - 75歳以上人口 55,097人

川越市福祉部地域包括ケア推進課

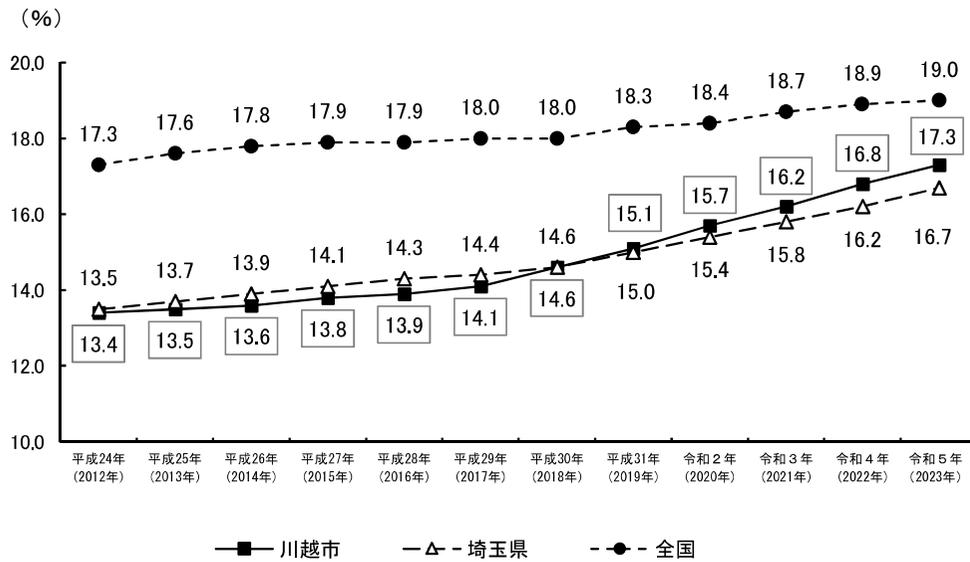
電話 : 049 (224) 6087(直通)

E-mail : hokatsucare@city.kawagoe.lg.jp

川越市の要介護（要支援）認定の状況 ①

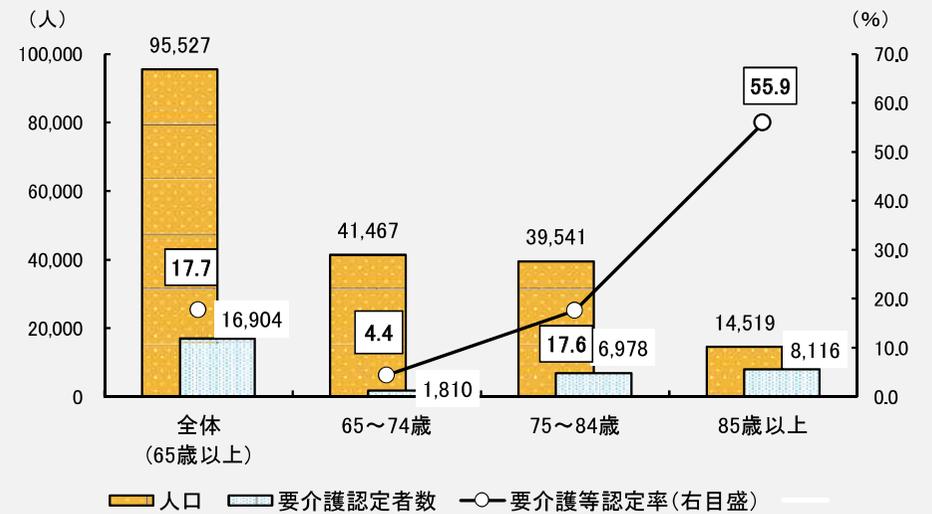
認定率の推移を見ると、平成30年以降県の認定率を上回り、伸び率が上がっているため、全国の認定率に近づいている状況。

認定率の推移（第1号被保険者）



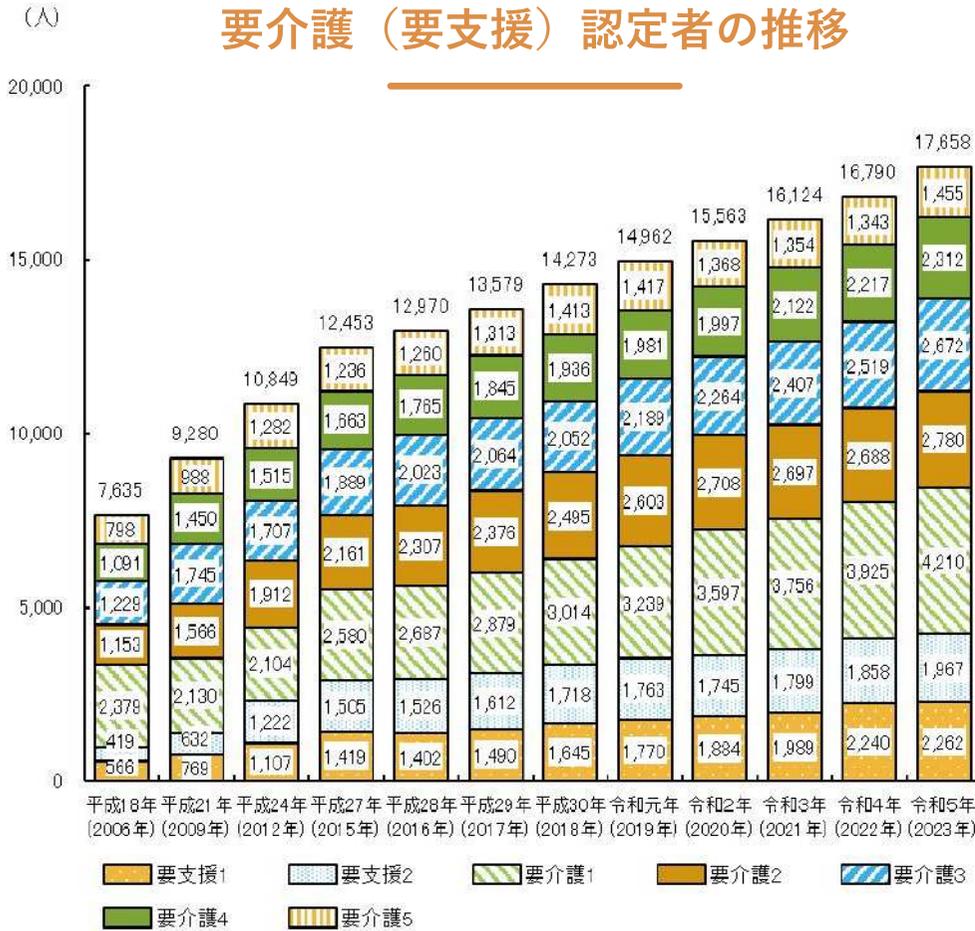
資料：厚生労働省：地域包括ケア「見える化」システムより作成

第1号被保険者の年齢階層別要介護（要支援）認定者の割合



資料：介護保険課（令和5年10月1日現在）※住所地特例4,466人を含む

川越市の要介護（要支援）認定の状況 ②



■ コロナ禍前の令和元年と令和5年で比較 ■

	(令和元年)	(令和5年)	
要介護5	1,417人	1,455人	102.7%
要介護4	1,981人	2,312人	116.7%
要介護3	2,189人	2,672人	122.1%
要介護2	2,603人	2,780人	102.7%
要介護1	3,239人	4,210人	130.0%
要支援2	1,763人	1,967人	111.6%
要支援1	1,770人	2,262人	127.8%

特に、要介護1・要支援1の伸び率大きい

地域包括ケアシステム構築・推進に向けた取組

地域包括ケアシステムの5つの構成要素「住まい」「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」の有機的連動をはかる。

第9期介護保険事業計画

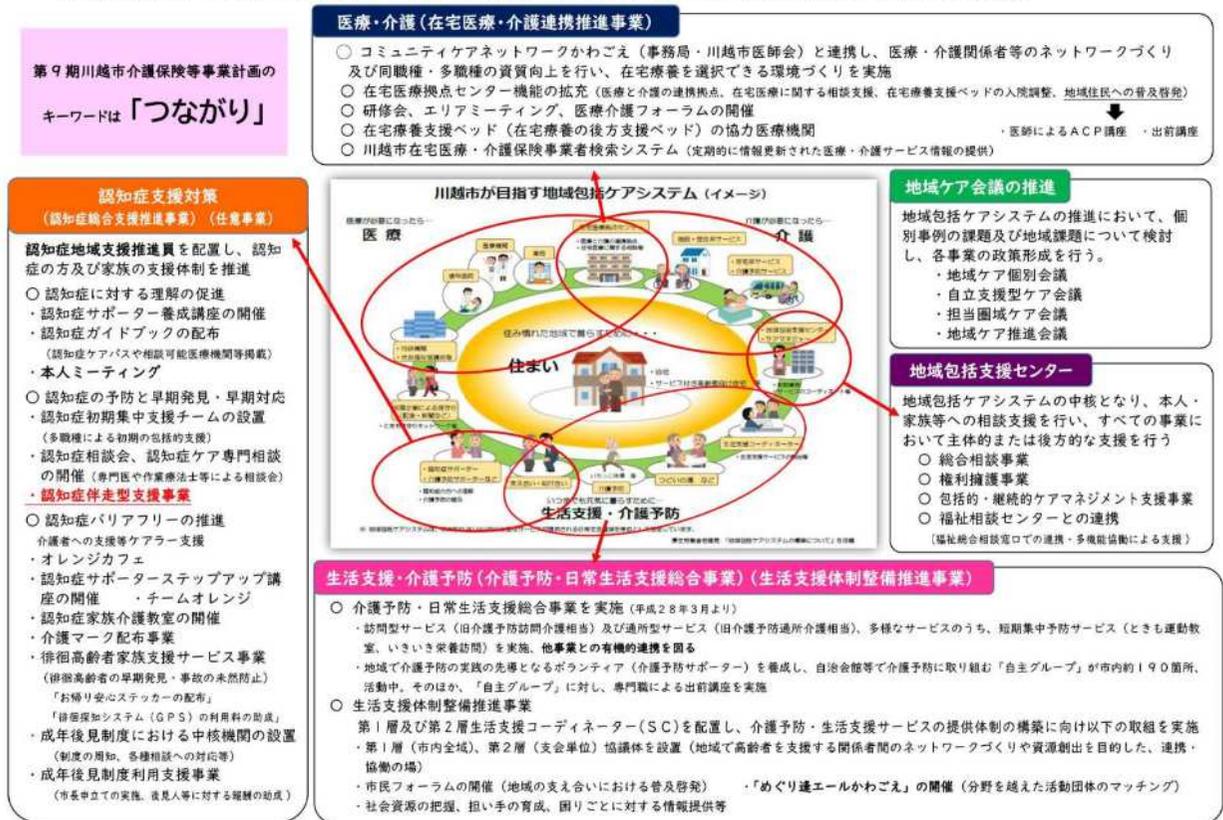
基本方針

住み慣れた地域で、見守りながら、
支え合いながら、
健幸で安心して暮らせるまちの実現
をめざします

重点取組

- 社会参加の機会にめぐまれ、一人ひとりが役割を持ち活躍できること
- 誰もが気軽に集まれる場があること
- 誰もが安心して外出できること
- 医療・介護の専門職が関与し、本人主体の生活を送ることができること

【川越市の地域包括ケアシステムの推進における主な取組状況】(令和6年9月1日現在)



※新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年は一時休止した事業もあったが、動画配信やオンライン等で工夫し実施。

在宅医療・介護連携推進事業（川越市在宅医療拠点センター）



主な取組

医療・介護者等関係者向け

- コミュニティケアネットワークかわごえとの連携（フォーラムやエリアミーティングの開催等）
- 在宅療養支援ベッドの確保
- 病院情報交換会の開催（MSW間での情報共有の場合）
- 入退院時連携ガイドラインの作成



市民向け

- 高齢者在宅療養相談窓口の開設
- ACP出前講座の実施

医師による 人生会議出前講座の様子



コミュニティケアネットワークかわごえ（CCNかわごえ）



市民を対象とした 医療介護フォーラムを開催



多職種連携を進めるための エリアミーティングの実施



すこやかプラン・川越

～川越市高齢者保健福祉計画・第9期川越市介護保険事業計画～

施策の柱

- I 生涯にわたる健幸づくりの推進
- II 認知症にやさしいまちづくりの推進
- III 地域の協力体制の強化
- IV 安心・安全な在宅生活の確保
- V 持続可能な介護サービス提供の推進

認知症の方の
本人ミーティング



ときも健幸スタジオ
(介護予防体操)



小学生向け
認知症サポーター養成講座



「すこやかプラン・川越」
川越市ホームページに掲載中

◀ 二次元コードはこちら

顔の見える関係づくりを大事にし、取組を推進していきます